

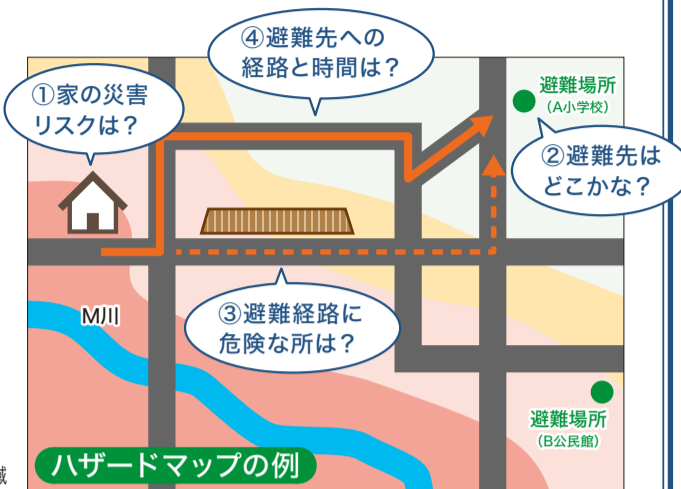
避難先と避難経路を確認する

市町村が公開しているハザードマップなどを見ながら、住んでいる地域の災害リスクを確認しましょう。避難先・避難経路、避難にかかる時間、途中に危険な場所がないかなどをチェックし、記入欄に書き込みます。

避難先は市町村が指定している小中学校等だけでなく、安全な場所にある親戚・知人宅なども考えておきましょう。

洪水浸水想定区域

- 3m以上
- 0.5~3m
- 0.5m未満
- 土砂災害警戒区域



ハザードマップの例

※あなたのまちの水害リスクについて、ホームページからも確認できます。

[ハザードマップポータルサイト](#) [検索](#) [ちば情報マップ](#) [検索](#)

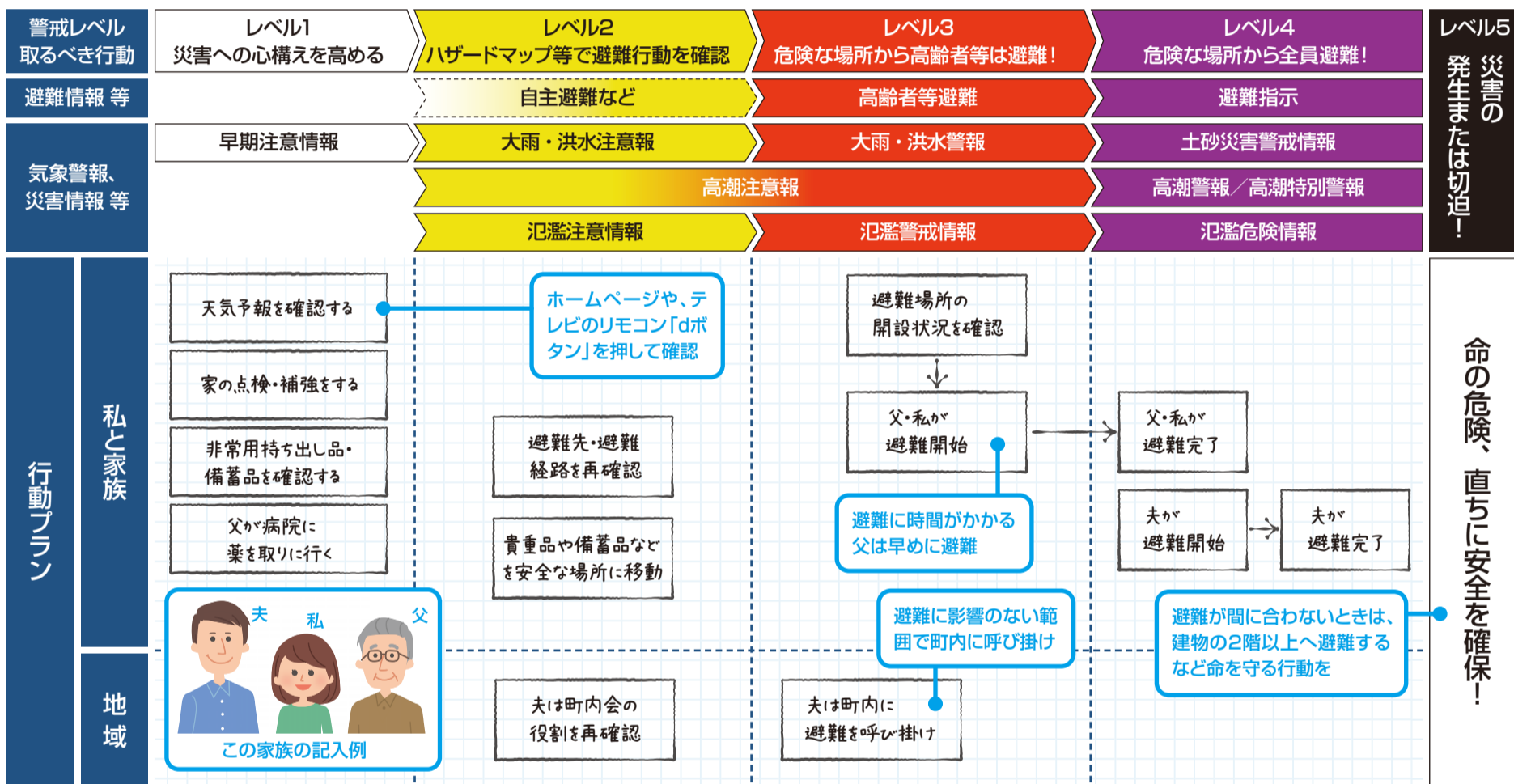
避難のタイミングを考える

水害や土砂災害のときは、5段階の「警戒レベル」で避難のタイミングが伝えられます。テレビや防災メール、防災無線などをチェックし、「警戒レベル4 避難指示」で「危険な場所にいる人は全員避難」、避難に時間がかかる場合は「警戒レベル3 高齢者等避難」で早めの避難が必要です。

下の記入例を参考に、自分が避難するまでに何をすべきか考えて記入しましょう。連絡先を書き込めば「マイ・タイムライン」の完成です。あわせて、チェックリストを使って持ち出し品をまとめておきましょう。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ^{*1}
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ^{*2}	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨洪水高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 災害の状況は確実に把握できるものではないため、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。



キリトリ線 ✂

## 最寄りの避難先と避難経路の危険性

2面左上「避難先と避難経路を確認する」の記事を参考に、避難先・避難にかかる時間、避難経路の危険性などを書き込んでおきましょう。

- (記入例) A小学校 (歩いて 15 分)  
(避難の途中に土砂災害警戒区域があるので経路に注意)
- _____ (歩いて _____ 分)  
( _____ )
- _____ (歩いて _____ 分)  
( _____ )

## 家族の連絡先・緊急連絡先

TEL - - ( )  
 TEL - - ( )  
 TEL - - ( )

## 持ち出し品チェックリスト

記載されているものの他にも、自分に必要なものがないか考えて、記入しておきましょう。(眼鏡やコンタクトレンズの洗浄液、子どもの大切なもの(ぬいぐるみなど心のよりどころになるもの)など) いざというとき慌てないように、持ち出し品はまとめておきましょう。

- マスク  体温計  消毒液  飲料水
- 非常食(缶詰など)  携帯電話の予備バッテリー
- 懐中電灯(予備の電池)  ラジオ  ヘルメット
- 常備薬、お薬手帳  箸  タオル  着替え  軍手
- 雨具  現金  ポリ袋、ゴミ袋
- ティッシュ(ウェットティッシュ)  ライター、ろうそく

### 家族構成に合わせて追加

- おむつ  粉ミルク・液体ミルク
- 生理用品  介護用品 など

### 必要なものを書き込もう

_____  _____  _____  
 _____  _____  _____

